

＜森林税事業「県民参加の森林づくり」
7月のスケジュール

日時 7月18日(土) 9:00~15:00
場所 水本林(紫波町南伝法寺字田沢)
集合 現地(不明の方は鎌田まで連絡)
内容 間伐作業
林内写真(6月20日撮影) →



7月オプション活動

日時; 7月8日(水) 9:00~15:00
場所; 田中林
集合; 現地(不明の方は鎌田に連絡)
内容; ・ロープウインチに搬器を装着した集材
・終了後「林分調査」

6月の活動 6月20日(土) 作業の内容; 「区域確認・表示」、「林分調査」「刈払い」
「危険木処理」、「間伐」、参加17名



《思うまま》

先年、山仕事の訓練合宿(2泊3日)に参加した。帰宅後、合宿の感想を求められ投稿したのを記します。合宿から時間が過ぎても、鮮明に体と心に刻み込まれたものが活動意欲となっています。

- ① 一本一本の木を大切なものとし、残すものには傷をつけず伐るものには価値を最大限引き出す。理念と技術力の裏打ちが必要なこと。
- ② 作業仕組みと作業には、互いの役割分担と自己認識の必要なこと。
- ③ 環境保全として、河川の清流の維持、生活排水への

配慮など研修期間の生活の中において必要性を再認例(カレーライスの皿に残るカレーは綺麗

に拭き取る) 大切なもの翻れば、種を採取し苗床を作り種を蒔き育て山に送り出し、山地に植え穴を掘り一本一本植え、下刈・除伐・つるきり・枝打ち・間伐など、世代をまたぐ人々の手で育てられたことを思えば当然である。

我が岩手県も林業県として自負しつつ静岡県には、山に向ける理念の高さに敬服いたしました。「林業」を冠する、全国唯一の林業高校を有することも願います。山仕事は理念と技術の習得なしには行い得ない仕事と心得ます。本訓練は、伐採後の集材も念頭に選木、伐倒方法等現場に即応する実践力を深める機会となり満足しています。ありがとうございました。